

Jan 2025

No.101

迎春 2025

とちぎ法人会だより

NEW GINGER MUSEUM

CONTENTS

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 新年のご挨拶 栃木法人会 山中会長 … ② | 新会員のご紹介/今後の行事予定 / … ⑪ |
| 新年のご挨拶 石澤栃木税務署長 … ③ | 会員情報に変更はございませんか / … ⑫ |
| 令和6年度 納税表彰式挙行 / … ④ | 令和6年度 会費納入のお願い |
| 秋のセミナー | 税理士会コーナー / … ⑬ |
| 第40回 法人会全国大会(鹿児島大会) / … ⑤ | 第38回 エコライブ講座 |
| 第38回 全国青年の集い(福井大会) | 税務署からのお知らせ … ⑭ |
| 各地区会活動 … ⑥ | インターネットセミナーのご案内 / … ⑮ |
| 女性部会セミナー … ⑨ | 第13回 税に関する絵はがきコンクール |
| 税制改正提言活動 … ⑩ | 税に関する標語・税についての作文 … ⑯ |

- ◆発行所 公益社団法人 栃木法人会
- ◆発行人 会長 山中史朗
- ◆編集 広報委員長 植原和信

〒328-0053 栃木市片柳町2-1-46(栃木商工会議所会館4F)
TEL(0282)24-3500 FAX(0282)24-3288



公益社団法人栃木法人会

会長 山中 史郎

新年の

新年あけましておめでとうございます。

栃木法人会会員の皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。

2024年は各首長選挙・県知事選挙・衆議院選挙と何かとにぎやかな一年を過ごしましたが、今年は栃木県民が選んだ政治家がどんな手腕を発揮できるか楽しみな年であります。いろいろな社会問題がある中で、私たち法人会の関心ごとはやはり経済の発展でしょう。法人会会員にはたくさんの職種があり、それぞれの立場の違いはありますが「風が吹けば桶屋が儲かる」の例えのように全ての業種に景気の風が吹き渡るような政治を望みたいものです。

令和7年度税制改正提言にかかるアンケート調査結果によると「今後景気は良くなるか？」の質問に「よくなると思う」と回答したのは2割、反面「悪くなると思う」は3割です。法人会会員の中にはまだまだたくさんの心配事が潜んでいるように思われます。今年も我々法人会の意見が各首長に伝わるように税制改正提言を通じて鋭意努力

をしてまいります。

さて、2025年はどんな明るい年になるでしょうか。

世界情勢は各国それぞれの事情で分断が加速されて非常に危険な状況になっていますが、わが日本においては国民性が良い方向に出ていると思います。昔から日本人の間に培ってきた日本人の5S、整理・整頓・清掃・清潔・躰が生活や仕事の基盤になっているからと言えるでしょう。そして栃木税務署管内の栃木法人会会員3500社においても、会員相互の信頼性や情報交換を通じて、お互いの社業発展のために有効に活用していただきたいと思います。法人会員なら信頼できる安心できると言っていたりするような組織にしていこうではありませんか。

結びに本年も法人会活動に一層のご支援ご協力を賜り、会員各位にとって有意義な法人会になりますよう努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年あけまして おめでとうございます



小林勝夫副会長 (藤岡地区会長)

世界の情勢と経済が目まぐるしく動く中で自分達の役割を果たそう



植原和信副会長 (大平地区会長)

新しい改革の年、法人会は健全経営で事業の拡大の年に挑戦



伏木昌人副会長 (栃木地区会長)

D X 推進。

持続可能な地域経済の発展へ！



山本郁夫副会長 (石橋地区会長)

米国トランプ氏2度目の大統領就任。負けるな日本経済。更なる発展を。



小林一則副会長 (下野地区会長)

政治変動の中ですが、企業繁栄及び社会貢献に頑張りましょう。

ご挨拶

栃木税務署長

石澤 聖志



令和7年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

山中会長をはじめ、公益社団法人栃木法人会の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、法人会の活動を通じ、税務行政全般にわたり深いご理解と格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、税知識の普及及び会員企業や地域社会の健全な発展のため、税務研修会をはじめとした各種講演会の開催、租税教室への講師派遣、税に関する絵はがきコンクールの開催等、活発な事業活動を展開されておられます。このような活動は、税務行政に携わる私どもといたしましても誠に心強い限りであり、皆様方の献身的なご尽力に深く敬意を表する次第であります。

さて、消費税インボイス制度が始まり1年が経

過しました。税務署といたしましては、制度の円滑な定着に向けて、引き続き、登録をするか否かを検討している事業者の方々に寄り添った丁寧な対応に努めてまいります。

また、税務署では、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」を目指し、添付書類を含めたALL e-Taxの普及・定着や、ダイレクト納付をはじめとするキャッシュレス納付の利用拡大などを一層推進していくこととしております。

皆様方におかれましては、税務行政の円滑な運営に、ご理解とご協力をいただきますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年の干支は乙巳で成長や結実の年とされ、今までの努力が実(巳)を結ぶ年と言われております。公益社団法人栃木法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



高田 弘副会長 (壬生地区会長)

こんな時だからこそ、法人会の底力を見せましょう！



小林雄一副会長 (岩舟地区会長)

巳年は成長・変革・再生を象徴する年。実り多き年にしましょう。



山中敏正副会長 (野木地区会長)

戦争のない平和な世界と、災害のない安心な日本でありますように。



野原正衛副会長 (都賀地区会長)

日米の新しい国のリーダーのもと、新しい時代の幕開けだ！



飯沼邦章副会長 (西方地区会長)

西方城跡が国の史跡に！魅力と活力のある地域社会、地域経済へ！



横田 学副会長 (小山地区副会長)

法人会活動が地域経済の発展に繋がるように心がけてまいります！

令和6年度 納税表彰式挙行

法人会長表彰 4名を表彰

11月14日(木)栃木商工会議所会館において、栃木税務署・栃木県栃木県税事務所並びに栃木税務署納税推進協議会の共催による、令和6年度納税表彰式が挙行された。

第一部の納税表彰では、関東信越国税局長表彰の伝達にはじまり栃木税務署長表彰、納税推進協議会を構成する税務9団体による会長表彰が行われた。第二部では、租税教育関係表彰として、中学生・高校生の作文表彰等が行われた。

当法人会関係者で栄えある表彰を受けられた方は次の皆様です。(敬称略・順不同)

関東信越国税局長表彰

会 長 山 中 史 朗

栃木税務署長表彰

副 会 長 小 林 雄 一

公益社団法人栃木法人会長表彰

理 事 小 藤 有 彦

石橋地区会女性部幹事 小 林 恵美子

大平地区会地区理事 大 川 任 央

下野地区会女性部理事 岡 本 恵 子



関東信越国税局長表彰・栃木税務署長表彰



公益社団法人 栃木法人会長表彰

秋のセミナーを開催

<経営セミナー>

10月1日、講師：(株)キャラウイット代表取締役 上岡実弥子氏、テーマ：「若手社員を辞めさせない! イマドキ若手の育て方」



<税務研修会>



・10月11日、講師：TOMA税理士法人 税理士若林寛氏、テーマ：「税務調査は怖くない! 知って得する税務調査対策セミナー」

・10月16日、講師：税理士法人プレアス副代表 兼東京支社長・税理士 小池俊氏、テーマ：「年末調整・確定申告に向けて定額減税対応のポイント」



・10月25日、講師：兼子・山下経営労務事務所代表・社会保険労務士山下順子氏、テーマ：「労務管理セミナー」

それぞれ参加された方々は、メモをしたり、積極的に質問をするなど熱心に講義を受けていました。



第40回法人会全国大会 鹿児島大会に参加して

第40回法人会全国大会は10月3日に鹿児島県鹿児島市で開催され、全国から1,700名の会員が集い、栃木法人会からは山中会長、横田・植原副会長・事務局の4名で参加させて頂きました。

鹿児島大会の会場である城山ホテル鹿児島は桜島と錦江湾を見渡す高台にあり、鹿児島県法人会による物産展に28の店舗が温かく向えてくれました。

第1部の大会式典では、主催者代表して小林栄三全法連会長の挨拶に続き、奥達雄国税庁長官、塩田康一鹿児島県知事ほか来賓の祝辞。その後、法人会活動の大きな柱である「令和7年度税制改正に関する提言」の発表が行われました。人手不足など厳しい経営環境を踏まえ、中小企業の活性化に資する税制措置を求めるものであり、法人税率の軽減措置・所得税や事業承継税制の控除の見直し・インボイス制度への対策など、税目別の具体的な課題とそれらへの要望が提言書としてまとめられました。各法人会を強固なものにするためには数のチカラも必要性であることを強く感じました。

第2部の記念講演では、ANAホールディングス株式会社取締役会長の片野坂真哉氏が、新型コロナ禍で大打撃を受けた航空業界「危機下の経営戦略を語る」との演題で講演されました。2018年度の売上高2兆583億円営業利益1650億円であったが2020年から2022年迄、新型コロナの影響で経営危機に直面して実践した取り組み①最悪のシナリオに立つ、年間1兆円の減収予測、②手元資金年間1兆円のキャッシュイン③CEOメッセージの発信（迅速・誠実に・事実を従業員とシェアする④継続的な政府支援の要望（公租公課・航空燃料税・雇調金等）⑤1円でも稼ぐ、徹底したコスト削減（航空貨物の活用）⑥従業員との対話（3万通に及ぶ従業員の声）等、経営者・社員が必ず生きるという確信を持ち続け、社員の底力を引き出すことで、2023年以降のインバウンド・国内旅行の需要の拡大を見込み2024年度計画売上2兆1900億円、営業利益1700億円、当期利益率7.8%が計画実現できると話されていました。

第3部の懇親会は、鹿児島の酒（焼酎）有名な3M森伊蔵・村尾・魔王が会場に振る舞われ、地産の食材を使った食事を堪能しながら、栃木県内法人会員より参加24名との会員交流を深めることが出来ました。

栃木法人会 副会長 植原和信



青年部会

第38回 全国青年の集い(福井大会)

11月7～8日に開催された「第38回法人会全国青年の集い福井大会」へ栃木法人会青年部会員で参加をさせて頂きました。

「福の國より未来を研げ！～志を立て、新時代の扉を開こう～」をスローガンに掲げたこの大会には、全国の青年部会員約2,000名が一堂に会しました。「福の國」出身の幕末の志士、橋本左内が自身の人生訓として書いた「啓発録」の中にある五訓の一つに「志を立つ」という言葉があるそうです。本大会に集まる法人会青年部の若い英知や技術をあわせ、伝統工芸が根付くこの福井からそれらを切磋琢磨しながら研ぎあげることを未来の子供たちへのメッセージとし、このスローガンが掲げられています。

法人会青年部は「納税意識の高揚と税知識の普及啓発」を図るため、「租税教育活動」「財政健全化のための健康経営プロジェクト」「部会員増強運動」を3つの柱として全国各地で精力的に活動していま

す。大会全体を通して橋本佐内の説いた精神性を起点とし、誰かを大切に思う「思いやりの心」という大きく変化する社会においても揺らぐことのない税の本質に対する意識を醸成する、という福井県法連の熱量を強く感じたあつという間の二日間でした。

法人会青年部の先進的な活動事例や存在意義・活動意義の認識が更に深まりました。この「福の國」での学びを各単会で活かし、栃木法人会青年部会を一層盛り上げてまいります。

栃木法人会 青年部会長 福本佳之



各地区会活動

(令和6年8月～12月)

栃木

絵はがきコンクール地区審査会を開催・エコキャップ回収事業を実施

9月24日、女性部による絵はがきコンクール地区審査会を開催しました。今年は前年を大きく上回る187名の児童よりご応募をいただきました。どの作品も個性豊かで、女性部の皆様は色使いやデザインに感心しながら審査を行いました。

11月15日、女性部によるエコキャップ回収事業を実施し、ゴミなどを取り除く分別作業を行いました。今年も多くの方の皆様より回収のご協力をいただくことができました。



小山

小山市長講演会および税制改正提言



11月19日、講師に小山市の浅野市長を控え、「これからの小山市」についてお話しを

いただきました。講演後には当会正副会長より浅野市長へ税制改正提言を行い、提言を参考に皆様の声を反映する市政としたいとの言葉をいただきました。

また、11月21日には定額減税研修会、12月3日は経理の基本セミナーを開催し、多くの事業所の方にご参加いただきました。

藤岡

租税教室下敷配布及び視察研修会の開催

藤岡地区会では、藤岡町内全4校の小学校に対し租税教室用下敷を配布しました。4校あわせて約520名の児童への下敷配布を行い、税知識の普及に努めました。

また、11月13日（水）には視察研修会として、東京方面の各所を訪れ、23名の方々にご参加いただきました。飛鳥山公園にある渋沢史料館では新紙幣に採用された渋沢栄一のことを学び、昼食では築地場外にて3地区講演会で講演をいただいた“すしざんまい”にておいしいお寿司を堪能しましたほか、豊洲の「千客万来」も訪れ会員同士の親睦を深めました。



石橋

視察研修会開催

去る11月21日、法人会の会員17名で視察研修を実施しました。まず、国立印刷局を見学し、印刷技術の歴史や最新の技術について学びました。その後、ランチブッフェを楽しみ、午後には国会議事堂を訪れて政治の中心

地の雰囲気を感じました。最後に浅草を散策し、地域の文化や歴史に触れる楽しいひとときを過ごしました。



大平 懇親を深めた親睦ゴルフコンペ

去る10月16日（水）に大平地区会と大平町工業会、大平町建築業組合との共催により本年度も「親睦ゴルフコンペ」を都賀のハーモニーヒルズゴルフクラブで開催いたしました。参加された16名の皆様が笑顔で集い、楽しみながらも熱い戦いが繰り広げられ日頃のストレス発散と親睦を図りました。



下野 相続対策セミナーを開催

去る、11月20日「これだけは押さえておきたい企業版相続対策セミナー」と題し、税務セミナーを実施しました。

講師に、北野良典会計税理士事務所の北野良典先生をお招きし、相続に必要な事前に準備すべき事や実際のトラブルの事例を交えながら、スムーズに後継者へバトンを繋げるた

め、失敗しない相続を分かりやすく、ためになるお話をしていただきました。参加者の中には、実際に失敗した経験をお持ちの方もいたり、皆さん真剣に耳を傾けていて、大変有意義な研修会となりました。



壬生 セミナー及び産業まつりでの小冊子配布

10月26日に壬生町総合産業まつりにて税に関する小冊子などを配布しました。この活動により数多くの人に法人会を知ってもらい、税について少しでも理解が深まってほしい。

また、11月7日壬生町商工会にて長濱賢治氏による防犯セミナーを開催しました。現在も多々起きている犯罪はこの世の中からなくなりません。今回のセミナーは犯罪者から身を守るために防犯の意識や術を学び、多くの人が普段からの防犯対策の重要性を理解して頂けました。



岩舟

清掃活動・エコキャップ回収を実施



「サマーフェスタ in いわふね」翌日の8月11日（日）早朝に、会場である岩舟総合運動場の清掃活動を実施しました。猛暑の中での作業となりましたが、26名と多くの方にご参加いただきました。

また、女性部によるエコキャップ回収事業では、例年以上の実績を上げることができました。

野木

租税教育用下敷き及び小冊子の配布



野木地区会では、11月に租税教育用下敷きを町内全小学校児童に、産業祭では、栃木税務署の職員と一緒に一般町民に配布しました。12月には、小冊子「仕事の効率アップに

役立つ！睡眠の質向上ガイド」を配布しました。

なお、経営セミナーを2月に開催を予定しています。

都賀

エコキャップ回収運動実施

都賀地区会では、商工会館駐車場において、女性部員の皆様と「エコキャップ回収運動」を行いました。部員の皆様にそれぞれ回収頂いた、たくさんのエコキャップを洗浄し、商工会館2階で乾燥させ、本会へ納入しました。当日は天気にも恵まれ、和気藹々と活動することができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



西方

法人会のPR活動



12月1日、私たちは「ど田舎にしかた祭り」において啓発活動を実施しました。役員

が主体となり、地域の皆様に「法人会のご案内」を配布しました。この取り組みは、当会の活動内容やその意義を広く知っていただくための貴重な機会となりました。また、参加者との対話を通じて、法人会の活動に対する関心を高めることができたと感じています。今後も引き続き啓発活動を行い、地域の皆様とのつながりを深めながら、より多くの方々に法人会の重要性を伝えていければと考えます。

大平・岩舟 藤岡 大岩藤3地区合同講演会

藤岡・岩舟・大平の3地区会では9月11日(水)に藤岡文化会館にて「経営手法・人材育成戦略を学ぶ！すしざんまいの経営戦略」と題した講演会を合同で開催しました。

例年各地区会単独で開催している講演会を3地区会の会長からの声掛けにて合同で開催することとなり、今回が2回目の開催となります。

ます。

当日は多くの会員や一般の方々にご参加いただき、“すしざんまい”(株)喜代村の木村清社長にすしざんまい開業の苦労話から経営手法等についてご講義いただきました。

多くのメディアでも取り上げられている木村社長の話に参加された方々は熱心に耳を傾けており、さらには講演終了後には多くの方からの質問もある大変有意義な講演会となりました。



女性部会

女性部会セミナーを開催

12月11日、栃木市内の会場において女性部会セミナーを開催しました。参加者は約40名。

第1部は栃木税務署石澤署長による「贈与税あれこれ」と題した税務研修会。複雑で難しい贈与税について、丁寧にご講演いただきました。



第2部は、書道家・高宮暉峰氏による「大人のためのボールペン・筆ペン上達講座」と題した講演会。上達のポイントを教わりながらの実践。参加者が熱心に取組む姿から、関心の高さがうかがえました。



税制改正提言活動



法人会からの提言

「金利のある世界」が到来 新たな財政再建目標の策定を！

新型コロナの世界的な流行が収束し、我が国における社会・経済活動もほぼ以前の状態に回復したと言えます。ただ、日本では100兆円の規模とされる莫大なコロナ危機対応予算を計上したことで、国と地方を合わせた長期債務残高は、本年3月末で1285兆円を突破しました。安定的な経済成長と日本経済の持続可能性を高めるためには、財政健全化に向けて財政規律を回復させることが重要です。

本年3月、日本銀行は消費者物価の上昇などに対応してマイナス金利政策を解除し、17年ぶりに金利の引き上げに踏み切りました。「金利のある世界」への回帰を踏まえ、安定的な税・財政運営のために新たな財政再建目標の策定は急務であると考えます。

また、地域経済や雇用の担い手である中小企業は、地域活性化の中心的な役割を担っています。地方創生を支える観点からも事業承継を含め、中小企業に対するきめ細かな税財政上の支援は欠かせません。

今回、この提言に基づき、各地区会を通じてそれぞれの自治体等に対して提言活動を実施いたしました。

令和7年度税制改正に関する提言（概要）

I 税・財政改革のあり方

1. 財政健全化に向けて
2. 企業への過度な保険料負担の抑制
3. 行政改革の徹底

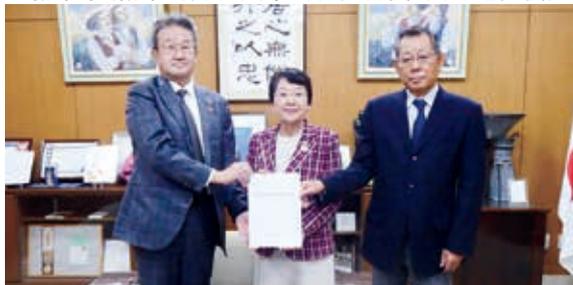
II 経済活性化と中小企業対策

1. 中小企業の活性化に資する税制措置
2. 事業承継税制の拡充
3. 消費税をめぐる事務負担の軽減

提言書の全文は、(公財)全国法人会総連合HPをご覧ください。

令和7年度税制改正に関する提言 <http://www.zenkokuhojinkai.or.jp>

▼栃木市(栃木・藤岡・大平・岩舟・都賀・西方地区会)



左から 伏木副会長・大川栃木市長・植原副会長

▼壬生町(壬生地区会)



左から 櫻井副町長・小菅壬生町長・高田副会長・佐藤常任理事・手塚理事

▼小山市(小山地区会)



左から 齊藤常任理事・浅野小山市長・山中会長 中澤理事

▼野木町(野木地区会)



左から 真瀬野木町長・山中副会長・萩原理事・岡部常任理事

▼下野市(石橋・下野地区会)



左から 小林副会長 山本副会長 坂村下野市長



新会員の紹介

〈令和6年7月～12月〉 ご加入ありがとうございます

地区会	会社名	住所	代表者名
栃木	(同) D O G	片柳町1-22-7 KURADO片柳115	山名 隆幸
〃	さくら塗工(株)	大森町455-5	寺内 渉
〃	えんもじや(株)	片柳町1-15-32	藍 浩之
〃	(同) W i s e	菌部町1-10-8	小竹 紀子
〃	(株) P M A S	吹上町402	大竹 徹
〃	ハツネオート(株)	城内町2-44-36	石川 泰敏
〃	(株) P O I N T	千塚町83-2	横倉 正和
〃	稲葉塗装工業(株)	本町17-41	稲葉 俊之
〃	(有) 飯塚商店	梅沢町164-2	飯塚 信夫
〃	(株) 種谷建材	菌部町2-21-2	種谷 瞬
〃	(株) アスピレーション	箱森町24-39-8	青木 康行
〃	(株) ザ・ちゃりんこや	河合町8-24	片柳 武久
〃	(株) ドリームカンパニー	平柳町3-25-26-4	直井 司
〃	栃木ステーションホテル(株)	万町6-11	若林可奈子
〃	(株) オールライフアシスト	箱森町37-9 イオン栃木1階	小林健太郎
小山	(株) ピー・アンド・ジェイ	天神町1-9-9	宮田 直樹
〃	シマモリスリッパ(株)	栃木市樋ノ口町46-15	嶋森 直一
〃	稲見通建(株)	駅東通り2-13-13 小山シティビル2階	小池明日香
〃	(有) 鹿野製作所	間々田2515-29	鹿野 直樹

地区会	会社名	住所	代表者名
藤岡	TechDesign(株)	赤麻722-2	山崎 吉雄
〃	(有) チャンプオート	藤岡2645	佐山 和章
〃	(学) しずわでら学園 認定こども園 ふじおか幼稚園	藤岡342	市村 弘貴
〃	(株) 船田商店	赤麻4243-4	船田 美樹
〃	(有) モールド・ケイ	大前673-10	高瀬 清利
〃	(株) Infinity R	藤岡512-10	尾崎 太啓
〃	(有) 赤坂解体工業	藤岡2190-1	赤坂 学
石橋	(株) ナラティヴ	上古山1427-4	渡邊 武彦
大平	(株) 名古屋商事	富田314-251	名古屋 翔
〃	宝クリエイイト(株)	西野田20-48	成島 恵美
〃	(有) 石田興業	下皆川2014-4	石田 周作
壬生	(株) Ys	安塚1168-33 M-2ビル101	柳田千鶴子
〃	(有) 青野瓦商事	福和田1587-79	青野 雄二
〃	看護マネジメント協会(株)	幸町1-17-12-101	大島 耕平
岩舟	(株) 協 新	静和346-2	井戸沼美紀子
〃	(同) 令和産業	西前原139-2	生井 康
野木	(株) IS.industrial	友沼5859-63	染谷 直希
都賀	(株) 左 創	家中5639-2	柏崎 忠敏
〃	すずき板金(株)	家中2124-1	鈴木 正伸
〃	TrustField(株)	合戦場345-5-2F	毛塚 悠貴

※当会ホームページ、機関誌による情報公開に同意された方を掲載しました。 他 13社

今後の行事予定

日時	開催場所	会議名等
1 月		
21(火)	サンプラザ	栃木地区会：新春税務講演会・新春懇談会
22(水)	帝国ホテル	(全法連) 新年賀詞交歓会
2 月		
3(月)	小 山 市	スマホ申告体験会(確定申告パブリシティ)
4(火)	下野市商工会	下野地区会：経営セミナー
5(水)	栃木商工会議所	新設法人「法人税・消費税」申告説明会
6(木)	栃木グランドホテル	栃木地区会：女性部会 税務・経営セミナー

日時	開催場所	会議名等
7(金)	法人会館	国税局幹部との協議会
未定	栃 木 市	事務担当者会議
未定	小 山 市	青年部会セミナー
3 月		
12(水)	サンプラザ	正副会長会議 理事会
下旬	大平町商工会議所	大平地区会：経営セミナー

会員情報に変更はございませんか

会社名、代表者、所在地、資本金等の**変更**がありましたら、**法人会事務局までご連絡**ください。

TEL 0282-24-3500
FAX 0282-24-3288



変更届書
(公社)栃木法人会事務局 行

法人名			
所在地			
代表者名			
次の事項について変更があったので通知します。			
変更事項	変更前	変更後	変更年月日
<input type="checkbox"/> 法人名			
<input type="checkbox"/> 所在地			
<input type="checkbox"/> 代表者名			
<input type="checkbox"/> T E L			
<input type="checkbox"/> F A X			
<input type="checkbox"/> 資 本 金			
<input type="checkbox"/> そ の 他			

令和6年度 会費納入のお願い

会費をまだ納入されていない会員様におかれましては、お早めにお振込み下さいますようお願いいたします。

また、口座振替のお手続きをご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

TEL 0282-24-3500

税理士会コーナー

申告書等の控えへの收受日付印の押なつの見直しについて

令和7年1月から、申告書等の控えに收受日付印の押捺が行われなくなることになります。{ここでいう「申告書等」とは、申告書のほか、申請書・請求書・届出書等を含む、国税庁・国税局・税務署に提出(送付)される全ての文書です}令和7年以降は、申告書等の提出(送付)の際は、申告書等の正本(提出用)のみを提出(送付)することになります。つまり、提出用と控え用の2部を持参(送付)しても控え用については押捺がされません。これにより以下の点について注意が必要です。

- ①申告書等の控えに收受日付印の押捺が行われないため、必要に応じて、自社で控えの作成及び保有、提出年月日の記録・管理をすることになる。
- ②金融機関等から收受印のある申告書(電子申告の記録がある場合を除く)等の提出を求められた場合、説明が必要になる可能性がある。これについては、国税当局は、「金融機関や補助金・助成金などを担当する行政機関などに対して、收受印廃止について事前に説明を行ってきており、令和7年1月以降は、各種の事務において收受日付印の押捺された申告書等の控えを求めないようお願いしている」、と説明しています。さらに、令和7年1月以降においても、收受日付印の押捺された控えの提出を求める各種機関を把握した場合、国税当局から個別に説明を行うとしています。当分の間の対応として、窓口もしくは郵送等により申告書等を提出する際に交付するリーフレット(收受印取りやめの案内と申告書等の提出事実等の確認方法を案内するものが記載される予定)に申告書等を収受した「日付」や「税務署名」を記載したものを、希望者にお渡しもしくは返送する予定です。
- ③申告書等を提出した事実を確認したい場合はどのようにすればよいのか、e-Taxを利用して申告書等を提出している場合は、メッセージボックスに格納された受信通知により確認することが可能です。書面で申告した場合であっても、所轄税務署に「申告書等閲覧申請書」を提出することで、申告済の申告書等を閲覧することが出来ますが、閲覧サービスのため、写しを受け取ることはできません。

結びに、税務署に提出した書類の管理について、電子申告による方法ではない方は、電子申告への切り替えを検討する機会になりそうです。

※参考資料 国税庁「申告書等の控えへの收受日付印の押なつの見直しに関するQ & A」

第38回 エコライフ講座 ~「エコライフ」していますか?~

「エコライフ」、とは環境に良い暮らしをすることですね。皆さんはエコライフできていますか?企業では社をあげてSDGsに取り組むところが多いと思いますが、家庭ではどんなことをされていますか?会社ではごみの分別を徹底しているのに、家に帰ると家人任せで何もせずほったらかし、なんていう方はいないですよね?また、近くの店に行くのに車で行く、という方もいないですよね?部屋の電気をつけっぱなしで寝てしまったとか、まだ食べられる食品を捨ててしまった、ということも無いですよね?

エコライフを実践するには、生活の様々な場面で考えられることがたくさんあります。食生活では、献立を考え、材料を調達し、調理し、食べて、片付ける流れの中で工夫できることはたくさんあります。衣生活でも衣類を買って、管理(洗う・保管する)し、処分する流れの中でできることがあります。住生活でも同じです。また、ごみの分別はもちろんですが、そもそもごみになるものを買わない暮らしはできていますか?生活の中で水を使う場面はとて多いですが、節水と、下水に負荷を掛けない使い方はできているのでしょうか?

温暖化を考えると、家庭部門のCO₂削減目標は2013年比で66%。栃木県では72%と設定しています。これは今使っているエネルギーを10年前の約4分の1にまで減らさないといけないというかなり厳しい数字です。(国は「デコ活」をPRしています)。

こまめな消灯といったことでは達成できませんが、塵も積もれば山となるで、やらないよりはましです。日々の暮らしを振り返り、できるだけ環境負荷を掛けない暮らしをしましょう!レッツ、エコライフ&デコ活!

NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会 伊藤 延子

税務署からのお知らせ

e-Tax申告法人の 4社に3社が ALL e-Tax です！！

国税庁では、納税者や税理士の皆様の利便性向上と税務行政の効率化のため、添付書類（財務諸表や勘定科目内訳明細書等）を含めたe-Tax（ALL e-Tax）を推進しています。



ALL e-Tax のメリット

業務の効率化



発送の手間や税務署へ行く手間を解消

ペーパーレス化



書類の保管場所が不要
遠隔地でも書類が確認可能

コスト削減



郵送料、印刷代、交通費の削減



法人税の電子申告のQ&A

01

添付書類を含めたe-Tax（ALL e-Tax）の利用はどのくらい進んでいますか？

e-Taxで申告した法人の **4社に3社** が、ALL e-Taxです。

02

e-Taxで送信できる添付書類のデータ形式は決まっていますか？

法令により、提出する書類ごとにデータ形式が定められています。

◇財務諸表 **XBRL形式・CSV形式**
◇勘定科目内訳明細書 **XML形式・CSV形式**

※ 上記の添付書類はPDF形式による提出が認められていません。

03

CSV形式で財務諸表を作成し、e-Taxで送信する方法を教えてください。

「[国税庁動画チャンネル](#)」に動画を掲載しています。

※ 財務諸表データの提出方法については裏面をご覧ください。

YouTube

「[国税庁動画チャンネル](#)」



国税庁 法人番号7000012050002

令和6年10月

栃木税務署からの **重要な** お知らせ

令和7年1月からの申告相談は確定申告期間（2月17日～3月17日）を除き**事前予約制**となります
予約の状況によっては、ご対応できない場合がございますので、自宅からの **e-Tax 申告** をご利用ください
※ 2月17日からは栃木商工会議所で LINE 予約になります



申告は
スマホで
自宅から



【確定申告書作成コーナー】

スマホ申告に必要なもの

- ・スマートフォン
- ・マイナンバーカード
- ・マイナンバーカードのパスワード2つ
- ①署名用電子証明書のパスワード(英数字6～16文字)
- ②利用者証明用電子証明書のパスワード(数字4桁)

パスワードを忘れた場合やロックされた場合の対処法については、公的個人認証サービスのポータルサイトをご覧ください。



【ポータルサイト】

ダイレクト納付

ダイレクト納付の申込をすることで、e-Taxから簡単な方法で口座引落としにより納付する方法です。



〈便利に利用できる方〉

- ・源泉所得税を納めている方（源泉徴収義務者）など、頻繁に納付手続をされる方
- ・納付日を指定されたい方
- ・確定申告前に見込み額をあらかじめ納付されたい方（ダイレクト予約）



栃木法人会よりインターネットセミナーのご案内

公益社団法人 栃木法人会のホームページから無料でセミナーがご覧いただけます
<https://tochiho.sakura.ne.jp/>

ID・パスワードは

会員ID: **0707** パスワード: **3500**

会員の方は700タイトル以上のセミナーが無料で受講できます

	セミナー名	講師	分数		セミナー名	講師	分数
実務家	古くて新しい万松青果の経営と人材採用戦略	中路 和宏	47分	一般経営	NEW コミュニティ経営のすすめ(5)「コミュニティ型組織の評価と賞金」	畑中 義雄	30分
	NEW 【管理職研修】向上と信頼が生む成果～いま求められているチーム作りとは～	山下 大輔	45分		「人的資本経営」を実現するための10のポイント(後編)	中平 次郎	41分
研修・人材育成	“フェムテック”を理解して多様な組織作りに役立てる	木川 誠子	23分		あなたの会社、廃業を考えていませんか?～社長必見!「あとつき探し」のポイント～	松木 秀一郎	43分
	自ら考え、動き出す今どきの若手の育て方	石田 祐一郎	65分		経験者が語る本当の事業承継	関根 壮至	55分
	金星コミュニケーション	田中 知子	28分		事例に学ぶ 中小企業「成功の方程式」	西川 靖志	38分
法律	労働問題で足をすくわれない経営を目指して	米澤 章吾	61分	税務・経理・財務	基礎からわかる「インボイス制度の概要と電子帳簿保存法のポイント」令和5年度制度改正 対応版	川口 宏之	107分
ライフスタイル	どすこいトリビア(3)ちゃんこ	田中 知子	6分		初心者でもよくわかる!簿記・経理入門セミナー	小野 恵	83分
	犯罪者に狙われにくい生活のコツ 第6回 安易な行為を慎む	森 雅人	6分	労務	働きながら介護する時代の「仕事と介護の両立環境」セミナー	田畑 啓史	47分
	写真が楽しくなるフォトコミュニケーションのススメ	洲上 真由	32分		実務家	ここがポイント!就業規則のつくり方	野澤 直子

掲載講師やタイトルは変更になる場合がございます。掲載されているタイトルは、ご覧いただけるものの一部です。

お問い合わせは公益社団法人 栃木法人会事務局まで **TEL:0282-24-3500**

第13回 税に関する 絵はがきコンクール

今年度、税に関する絵はがきを募集しましたところ、491点(15小学校)の作品の応募をいただき、ありがとうございました。

同コンクールは、小学6年生を対象に、税に関する絵はがきの作成を通じて、税の大切さを学び、税に対する理解を高めてもらおうと実施しています。

この度、女性部会を中心に厳正な審査を行い、会長賞・栃木税務署長賞・栃木県税事務所長賞・女性部会長賞など、合計20点の素晴らしい入選作品が決定しました。入選された児童の皆様、おめでとうございます。



法人会長賞・栃木県税事務所長賞
(栃木市立栃木第三小学校)



栃木税務署長賞
(栃木市立栃木第五小学校)



女性部会長賞
(小山市立小山城東小学校)

★ 入賞作品紹介 ★



会長賞
橋本市立橋木第三小学校 6年
早乙女 奈穂さん



栃木県税務署長賞
橋本市立橋木第五小学校 6年
荒金 慶大さん



栃木県税務所長賞
橋本市立橋木第三小学校 6年
福田 千乃さん



女性部会長賞
小山市立小山城北小学校 6年
大森 圭乃さん



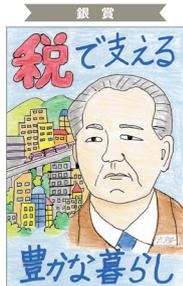
金賞
橋本市立橋木第五小学校 6年
高野 悠生さん



金賞
小山市立間々田小学校 6年
船山 明日翔さん



金賞
小山市立小山城北小学校 6年
坂入 穂香さん



銀賞
橋本市立橋木第三小学校 6年
山井 悠央さん



銀賞
橋本市立橋木第四小学校 6年
松本 紗帆さん



銀賞
小山市立小山第一小学校 6年
成瀬 瞳依さん



銀賞
下野市立南河内小中学校 6年
森川 陽菜さん



銀賞
橋本市立寺尾小学校 6年
久保 葵さん



銅賞
下野市立南河内小中学校 6年
元西 結琳さん



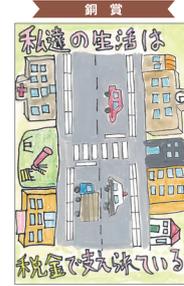
銅賞
橋本市立橋木第五小学校 6年
河嶋 由莉さん



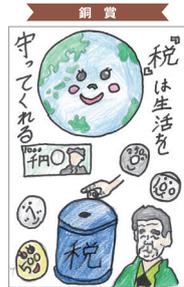
銅賞
小山市立小山第一小学校 6年
酒井 汐織さん



銅賞
橋本市立橋木第四小学校 6年
田中 心悠さん



銅賞
橋本市立橋木第三小学校 6年
狐塚 亮太さん



銅賞
小山市立豊田小学校 6年
伊藤 路太さん



銅賞
下野市立緑小学校 6年
直井 拓馬さん



銅賞
壬生町立藤井小学校 6年
平川 楓奈さん

【 税に関する標語・税についての作文 】

応募作品1,618点より栃木法人会長賞を贈る

小学生「税に関する標語」



「税に関する標語」表彰式

標語入賞された主な作品は次のとおりです。

栃木法人会長賞	下野市立古山小学校6年
『こづかいで払っているのは 消費税』 梅津 結斗さん	
栃木税務署長賞	下野市立石橋小学校6年
『君と僕みんなでつくる 税の輪を』 西 春登さん	
下野市長賞	下野市立細谷小学校6年
『導こう豊かな未来 税金で』 古谷 葉奈さん	
下野市教育長賞	下野市立石橋小学校6年
『租庸調飛鳥の都の 屋台骨』 清水 藍さん	

中学生「税についての作文」



「税についての作文」表彰式

栃木法人会長賞	栃木市立吹上中学校3年
『医療の税』	高岡 芽生さん

中学生になって聞くことが増えた「税」という言葉。社会の授業やニュースでよく聞くけれど、実際にはどういうものか全く分かりませんでした。しかし、税について調べてみると、色々な種類があり、私たちの生活に深く関わっていることが分かりました。調べた中で私が一番気になったのは医療に使われている税のことで、私の母は病院で働いています。母との何気ない会話の中で、子どもの注射にかかる金額や、最近ではコロナウイルスワクチンの全額免除のことについて聞くことができました。

それらは、税とつながりがあるのではないかと思います、調べてみることにしました。

私たちは、病気や怪我をして病院で治療してもらったときに、税金が使われています。医療に税が使われているおかげで、私たちは安心して生活できています。私たちの健康は税によって守られているのだと感じました。

しかし、税について安心できることばかりではありません。今、日本は超少子高齢化社会と言われています。高齢者が増えると、医療費は増加せざるを得ません。そして、その費用を負担している若い人が減っているため、「増税」という形でそれを負担し、厳しい状況になっているのが現状です。今後、税を納めるべき人がきちんと払わなければ、大変なことになると思います。自分が年をとったときに、今のよう医療を受けることができるのか不安になりました。全く関係のなさそうな少子高齢化と税。社会の色々な問題と税が密接に関わっていることを知って、驚くことばかりでした。

私の力だけでは、税や社会に大きな変化をもたらすことは難しいと思います。しかし、税の考え方を、少しずつ前向きに変えていくことはできるのではないかと思います。今までは、物を買うときに「なぜ消費税を払わなければいけないのか」と損をした気持ちになっていました。しかし、その消費税を含む税が、今の医療や様々な社会の役に立てるものになっていくことに気付くことができました。そして、税を払うことで中学生の私でも誰かを助けているのだと思うと、誇らしい気持ちになりました。

税とは、私たちの明るい未来を作っていくための種なのだと思います。一人が税を多く負担するのでは、種は育ちません。皆が税に対して関心を持ち、きちんと税を負担することが大切です。互いが互いを支え助け合えることができれば、その種が花開き、明るい未来がやってくるのではないかと考えます。今の社会より、もっとより良い社会にしていけるために。